



キャリアとしての大学院進学

将来の選択肢の一つとして

応用化学科は1960年に工業化学科として創設され、2006年に応用化学科と名称が変更されました。2010年に50周年を迎え、「フラスコからコンピューターまで匠に操れる科学者・研究者・技術者」を目指し、ますます発展していけるように教育・研究環境の充実を図っています。本講演会はこれから研究室に配属され、最先端研究に携わっていくことになる三年生を対象とし、大学院進学を進路選択の一つとして考えるヒントになればと考え企画をしました。

研究開発に求められる論理的思考力やプレゼンテーションなどのスキルを高めて自身が希望する企業で活躍したい、と考えている皆さんにとっては、大学院での勉学と研究経験、そして修士号が重要なキャリアとなります。応用化学専攻の修了生で活躍されている社会人の先輩や、応用化学専攻在学中の先輩に、キャリアとしての大学院進学の特長・デメリットや、大学院での研究生生活に関する情報などをお話しいたします。

「キャリアとしての大学院進学」

日時: 2020年7月24日(金) 17:10~18:50

場所: オンライン (Zoom利用, URL は別途案内)

対象: 理工学部応用化学科3年生

(その他の学年, 保護者の皆様の参加も可能です)

プログラム:

17:10~17:15 「講演会を開催するにあたって」 深澤 倫子 学科長

17:15~18:05 「大学院に進学して」

—卒業研究と大学院での研究—

—研究と就活—

—大学院生の生活—

—早期卒業とは—

—大学院での留学—

志磨 恭子氏 (田原研 M2)

山田 信仁氏 (金子研 M2)

相澤 真凜氏 (本多研 M2)

伊藤 瑞希氏 (渡邊研 D3)

毛戸 章博氏 (永井研 M2)

18:05~18:35 「大学院で学んだこと、そして未来へ」

加々見 早苗氏 (相澤研2018年度修了, 日本コルマー株式会社)

18:35~18:45 質疑応答

18:45~18:50 「まとめ(アンケート等)」

(19:00~19:20 2020年度第2回応化特別卒業ガイダンス※対象者のみ, 別URL)

【注意】本講演会は講義「応用化学概論2」の一環として実施します。

なお、本講演会は、父母会の助成金により開催されます。





明治大学大学院理工学研究科 応用化学専攻

カリキュラム 概要

応用化学専攻では、研究対象を「無機物質」「有機物質」「物質の工学的処理」「分析法」に分け、広い視野と良識で物質と反応を解析・理解できるように指導し、化学工業の将来を担う人材の育成を目指しています。

学位請求までの プロセス

現在の応用化学専攻
(2020年4月現在)
D: 5名 (+社会人3名)
M2: 44名
M1: 53名

【研究指導体制】

入学試験出願時に希望した研究指導教員及び研究計画書における内容を勘案し、研究指導教員が決定され、専門分野に関して指導を受けることになる。学生は入学後、指導教員と相談の上、2カ年分の履修計画を立てる。

【1年次】

論文作成に関する指導を受けながら、既往研究に関する文献調査等を行い、研究報告会において討論を深めつつ研究テーマの絞り込みを行う。具体的な調査・研究に着手し、定期的に進捗状況を報告して意見交換を行うこととなる。さらに、プレゼンテーションに関する指導を受け、中間発表の準備を行う。

【2年次】

1年次の総括を踏まえ、必要に応じて研究計画を見直し・修正を行う。継続して研究テーマの報告会を実施し、学位論文提出に向けて研究の進捗状況を確認するとともに研究内容に対するフィードバックを行う。また、研究成果が得られた場合には、学会発表や論文投稿等を行う中で内容の深化を図る。さらに学位論文の作成に際しては、目次の作成及び章立て、章・節ごとの内容の整合性、論理展開の妥当性、研究内容の独自性の確認を行う。



RA・TA 制度

本学では、研究者養成型大学院学生のために、RA・TA制度を設けています。この制度を通じて一定の報酬を支給し、大学院学生を経済的に支援するとともに、大学院学生が将来、教員や研究者になるために、トレーニングの機会を提供することが目的です。

大学院奨学金

明治大学大学院学生には、独立行政法人日本学生支援機構奨学金(貸費)のほか、明治大学独自の給費・貸費奨学金制度が設けられています。

「トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラム」



トビタテ！
留学JAPAN
その経験が、未来の自信。

官民協働で取り組む海外留学支援制度です。2020年までの7年間で約1万人の高校生、大学生を「トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラム」の派遣留学生として送り出す計画です。

留学に興味をもったら！

「大学・大学院在学中に留学したい！ 海外で学びたい！」漠然とでも興味をもったなら、さっそく情報収集をはじめましょう。プログラムによっては、手続きに時間がかかったり、出願締切が留学の1年以上前ということもあります。思い立ったときには間に合わない！ということがないように、余裕をもって準備を進めましょう。

トビタテ！留学JAPAN HP: <https://www.tobitate.mext.go.jp/index.html>